# 協会ニュース

20.3.2発行

一般社団法人
秋田県レンタカー協会

## 新年度に向けて 第5回理事会を開催す

二月二十七日に、令和元年度第五回理事会を秋田市のイヤタカで開催いたしました。

冒頭、小野寺会長からコロナウイルスの影響でレンタカー従業員も感染の脅威にさらされており、特に羽田空港等の大規模な店舗では勤務確保が困難な状況にあることや車両調達面でもさまざまな影響が出ている。また今年の暖冬で業界は厳しい部分もあるが、会員内で情報を共有し、知恵と工夫でこの難局を全員で乗り切っていこうという挨拶がありました。

その後報告承認事項、議事へと進み

① 全国事業者大会への対応
② 賛助会員の獲得の件
③ 新年度事業計画の件
④ 新年度会費の件

について議論を交わしました。

事業者大会について、今年は石川県で開催予定ですが、現下のコロナウイルスの状況により開催状況が不透明なため、性急なチケット手配は保留することとしました。

賛助会員については具体的にディーラーや損保、タイヤ、部品関係から十三社を選び、協会も加入予定の会社も双方ウインウインの関係になれるようなプレゼンテーションをしていくこととしました。

新年度事業については、前年の積み残しを踏まえ、新規会員の獲得と既存会員へのサービス強化を重点活動として具体的な活動計画を立てていくこととし五月二十七日に総会で提案し、走り出すことといたします。

## 横断者の事故が増えています 走行時はハイビームの活用を

令和元年を振り返ると高齢者（特に歩行者）の事故数が増えております。

横断中の事故で多いのが、進行方向右側から渡ってくる方の被害が多くなっております。

構造上、ロービームの場合、右からの横断者は至近距離でしか見えないのです。

交通の方法に関する供促の一部改正で記されてます。面倒がらずにハイビームで！

> 交通量の多い市街地等を通行している場合や先行車や対向車があるときを除き、夜間の運転時は灯火を上向きにすべきである

## アルコールが抜け切る迄の時間 注意してますか？

ここにきて、飲酒運転での検挙者が増えてきております。

増えているのは、朝の通勤時に事故或いは何らかのトラブルにより、呼気からアルコール検査をし、その結果検挙に至るというケースです。

「休んだから」「一晩寝たから」と、深酒した翌日に安易にハンドルを握っていませんか？多くの方が勘違いしています。

体格や体質、体調などによって異なりますが、体重が六十五kgの人の場合、お酒を2合飲むとアルコールが抜けるまで6～7時間程度、**3合飲むと十時間**程度かかるといわれています。

どうしても付き合いでという方もいらっしゃると思いますが「やりすぎたな」と思ったら、思い切って休むことがベストな選択かもしれませんよ。

一般社団法人
秋田県レンタカー協会

**第43回通常総会　開催公告**

日時：令和２年５月２５日（月）　15:00～研修会
会場：秋田市　イヤタカ　16:00～通常総会